

抱負

副理事長 兼 出向理事 内藤 史成

創立61年目となる現在、私たちは想像していなかった激動の時代を迎える事になりました。しかし、どのような時代においても青年会議所の理念は不変であり、青年がもつ可能性は無限であります。重要なのは環境です。環境さえ整えれば、私たちには素晴らしい行動を取る事ができるチカラがあり、さらに重要なのは、誰もが深い愛を発揮する能力をもっている事です。

本年度、副理事長兼出向理事という役職をお預かりするにあたり、私自身リーダーシップスキルを最大化できるよう挑戦してまいります。組織内の環境を変化させる上で、リーダーシップが重要になります。リーダーが方向性を決めるからです。優れたリーダーとは、例えるなら親のような存在です。チャンスと教育、必要なら罰を与えて自尊心を育み、「失敗してもいい」と挑戦する機会を与えます。すべては自分達の想像を超えるものを達成できるようにするためです。

そして、誰よりも先にリスクを冒す人間こそリーダーにふさわしいと考えます。周囲が安心できるように考え、自らは犠牲になる選択をする人間こそリーダーと言えます。そんなリーダーがいれば、周りは自然と利他のリーダーシップを執るようになります。皆のために、血と汗と涙を流してリーダーのビジョンを実現させようとしめます。「なぜ他人のために血と汗と涙を流すのか」と問われたら、「彼らも自分のために同じ事をしたでしょう」と優秀なリーダーは答えるでしょう。信頼と協力を育むような環境を整える。そのためにリーダーシップの研鑽を積む1年にしたいと思えます。